

講義科目名称：世界の経済

授業の概要：貿易の歴史と基礎理論を学び、国際経済と国際関係の実態を各国経済の発展と貿易、直接投資の関係を明らかにしていきます。そのなかで現在の通貨制度の特色と問題点を明らかにして、あわせて日本の経済発展と貿易の問題点、東アジアと日本、アメリカの貿易の構造と関連を明らかにしていきます。そのなかで日本の特化型貿易構造の強さと弱さの問題点を考えていきます。

授業計画：

- 1回目 オリエンテーション
- 2回目 機械制大工業と農工国際分業
- 3回目 産業革命の非資本主義国への影響
貧しい国と豊かな国
- 4回目 輸出部門と輸入部門はどう決まる
貿易の考え方、貿易の利益と損失
- 5回目 リカード比較生産費説の核心は
対外的生産性格差と比較優位、比較劣位
- 6回目 第一次世界大戦の経済的背景
- 7回目 両大戦間期の世界経済
- 8回目 第二次大戦後の国際経済体制をめぐる議論
- 9回目 ブレトンウッズ体制とはアメリカ体制
- 10回目 GATTと何か
- 11回目 南北問題
豊かな北、貧しい南、貿易と開発の関係
- 12回目 アメリカ経済と日米経済摩擦
- 13回目 EUとは何か
- 14回目 WTOの成立
- 15回目 まとめ

到達目標：第二次世界大戦後の国際経済の歴史をアメリカ、日本、東アジアを中心に見ていきます。国際化、グローバル化と呼ばれる現代世界経済の理論と現状を理解できます。そのなかで戦後国際経済体制や国際通貨体制が我々の生活にどのような影響を及ぼすかを考え、判断することができます。